

令和 7 年度

事 業 報 告 書
及びその附属明細書

学校法人 八洲学園

1. 法人の概要

(1) 基本情報

①法人の名称

学校法人 八洲学園

②主たる事務所の住所

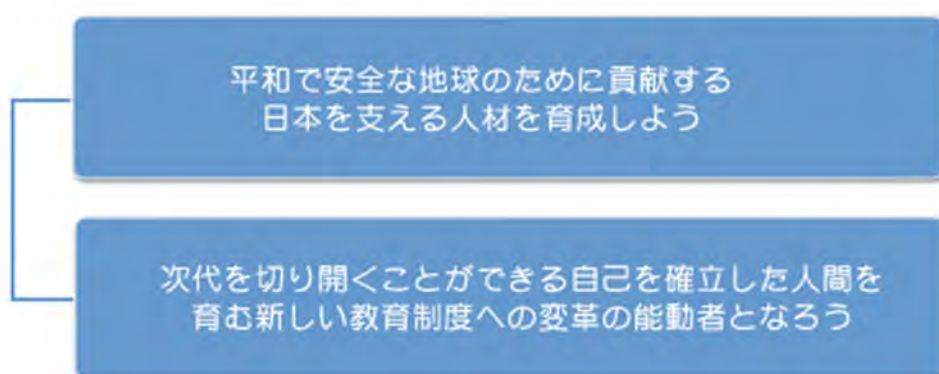
神奈川県横浜市西区桜木町7-4-2

電話番号 045-313-5454 FAX 番号 045-324-6961

ホームページ <https://yashima.ac.jp/>

(2) 学園のミッション

八洲学園では2つのミッション ステートメントを掲げております。



(3) 学校法人の沿革

- 1948 年 奈良県においてヤシマ裁縫学院として奈良県知事の認可により創立。
- 1951 年 私立学校法施行により、学校法人八洲学園を設立。ヤシマ文化学園並びに天理経理学校を併設する。
- 1952 年 大阪市東区（現中央区）において大阪経理専修学校を設立。
- 1954 年 大阪経理専修学校を玉造経理専門学校と改称。
- 1966 年 玉造経理専門学校の発展に伴い通学の便をはかり、阪和線堺市鳳地区に鳳経理専門学校を設立。
- 1969 年 大阪市天王寺区に玉造タイピスト学校を設立。
- 1976 年 玉造経理専門学校、鳳経理専門学校、天理経理専門学校、ヤシマ文化学園が専修学校認可を受ける。
- 1977 年 鳳経理専門学校高等課程が技能連携指定校（文部大臣認可）とし卒業生に高校卒業資格が与えられる。
- 1978 年 鳳経理専門学校専門課程は産業能率短期大学との提携により通信制を併学し、短大卒業資格を得る。
- 1979 年 鳳経理専門学校高等課程を分離し、鳳経理高等専修学校の設立認可をうける。
- 1985 年 鳳経理高等専修学校の卒業生に、文部大臣より大学入学資格が与えられる。
- 1986 年 玉造経理専門学校新校舎完成。鳳経理専門学校とともに校名を、ヤシマ情報経理専門学校と改称。
- 1992 年 ヤシマ情報経理専門学校鳳校を廃校し、八洲学園高等学校の設立認可をうける。
- 1994 年 ヤシマ情報経理専門学校に高等課程を設置
- 1995 年 ヤシマ総合ビジネス専門学校（旧玉造タイピスト学校）をパソコンワープロカレッジ専門学校と改称。
- 1997 年 八洲学園高等学校広域の認可を受け、東京本部（新宿区）を設置。
- 1998 年 鳳商業高等専修学校を八洲学園高等専修学校と改称。
- 1998 年 八洲学園高等学校梅田、渋谷、池袋会場を開設。
- 1999 年 八洲学園高等学校上野、横浜、三ノ宮、京都、奈良会場開設。

2000 年 八洲学園国際高等学校（沖縄）を設置。

2000 年 八洲学園高等学校東京本部 2 号館完成。

2001 年 パソコンワープロカレッジ専門学校内に学園本部を設置。

2002 年 パソコンワープロカレッジ専門学校とヤシマ情報経理専門学校統合、西日本柔道整復専門学校設置。

2004 年 八洲学園大学開学。

2006 年 八洲学園国際高等学校を八洲学園大学国際高等学校に改称。

2017 年 ESA 音楽学院専門学校を設置。

2017 年 福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校の移管を受け、福岡女子商業高等学校として設置。

（４）設置する学校・学部・学科（令和 8 年 3 月 31 日現在）

設置学校名	学部・学科	学（校）長名	学校所在地
八洲学園大学	生涯学習学部 生涯学習学科	水戸部 優子	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42 045-313-5454
八洲学園高等学校	通信制課程（広域） 普通科	林 周剛	大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3 072-626-5849
八洲学園大学国際高等学校	通信制課程（広域） 普通科	鈴木 啓之	沖縄県国頭郡本部町備瀬 1249 0980-51-7711
八洲学園高等専修学校	経理高等課程 商業科	安達 俊昭	大阪府堺市西区鳳中町 4-132 072-626-6741
ESA 音楽学院専門学校	文化教養課程 吹奏楽学科・吹奏楽実務学科	臼田 徹	大阪府大阪市天王寺区玉造元町 2-6 06-6762-2778
福岡女子商業高等学校	全日制課程 商業科	柴山 翔太	福岡県那珂川市片縄北 1-4-1 092-952-2231

（５）学部・学科・学生等の状況（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学校名	学部・学科等名	入学定員 （人）	入学者数 （人）	収容定員 （人）	現員数 （人）
八洲学園大学	生涯学習学部 生涯学習学科	入学定員 800 編入学定員 400	※1 77	4000	※2 1213
八洲学園高等学校	通信制課程（広域） 普通科	—	591	3000	2012
八洲学園大学国際高等学校	通信制課程（広域） 普通科	—	334	5000	1357
八洲学園高等専修学校	経理高等課程 商業科	40	15	120	68
ESA 音楽学院専門学校	文化教養課程 吹奏楽学科・吹奏楽実務学科	45	17	80	40
福岡女子商業高等学校	全日制課程 商業科	240	181	720	587

※1 大学は正科生のみで科目等履修生は含まない。

※2 八洲学園大学は、在籍者数に長期休学生（履修や学籍手続き等を行わないまま長期間在籍している学生）が含まれていたが、令和 6 年度から長期休学生の除籍を行い、現在は 1 学期間を超えて休学状態となる学生は在籍しておらず、状況が健全化した。

(6) 収容定員充足率（毎年5月1日現在）

学校名	収容定員 (人)	令和3年 充足率(%)	令和4年 充足率(%)	令和5年 充足率(%)	令和6年 充足率(%)	令和7年 充足率(%)
八洲学園大学	4000	55.6	57.0	60.6	63.0	30.3
八洲学園高等学校	3000	55.9	58.0	61.0	65.7	67.1
八洲学園大学国際高等学校	5000	26.5	26.7	24.5	25.8	27.1
八洲学園高等専修学校	120	52.5	58.3	60.0	58.3	56.6
ESA音楽学院専門学校	80	40.0	34.2	64.3	50.0	50.0
福岡女子商業高等学校	720	43.8	55.0	70.8	79.2	81.5

(7) 役員概要（令和8年3月31日現在）

定員数 理事5～7名 実数6名 ・ 監事2～3名 実数2名

役員名	氏名	就任年月日	常勤 非常勤	業務執行 非業務執行	選任区分	主な現職等
理事	和田 公人	平成9年5月29日	常勤	業務執行	2号	理事長
理事	小森 嘉之	平成14年9月30日	非常勤	非業務執行	2号	会社役員
理事	林 周剛	平成27年4月1日	常勤	業務執行	1号	校長
理事	水戸部 優子	令和7年5月27日	常勤	業務執行	1号	学長
理事	峯岸 暁	令和7年6月4日	非常勤	非業務執行	2号	会社役員
理事	石渡 知美	令和7年5月27日	常勤	業務執行	2号	法人職員
監事	加藤 卓	平成25年6月14日	非常勤	—	—	税理士
監事	岡 正俊	平成28年4月1日	非常勤	—	—	弁護士

・責任限定契約の状況 寄附行為

非業務執行理事、監事、会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、非業務執行理事、監事、会計監査人が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、賠償責任を限定する旨の契約を締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、金10万円以上でこの法人があらかじめ定めた額と私立学校法第92条で定める額とのいずれか高い額とする。

(8) 評議員の概要（令和8年3月31日現在） 定員数 7～8名 実数7名

氏名	就任年月日	選任区分	主な現職等
柴山 翔太	令和3年4月1日	1号	福岡女子商業高等学校校長
鈴木 啓之	令和6年4月1日	1号	八洲学園大学国際高等学校校長
和田 みゆき	平成24年4月1日	2号	会社役員
古川 直季	平成17年6月14日	3号	衆議院議員
松本 真尚	平成25年6月14日	3号	会社役員
守谷 たつみ	令和7年5月27日	3号	学校法人早稲田学園理事長
宇田川 敬介	令和7年5月27日	3号	作家、ジャーナリスト

(9) 会計監査人の概要（令和8年3月31日現在） 定数1～2名 実数1名

氏名	就任年月日	現職
池田 好正	令和7年5月27日	公認会計士

(10) 理事選任機関の構成

寄附行為、この法人の理事選任機関は、理事選考委員会とし、理事の選任および解任のみを審議、議決する。

理事選考委員会の構成員は、すべての理事とする。

(11) 教職員の概要（令和7年5月1日現在）

		合計	八洲学園 大学	八洲学園 高等学校	八洲学園大学 国際高等学校	八洲学園高 等専修学校	ESA 音楽学 院専門学校	福岡女子商 業高等学校
教 員	本務	138	17	56	16	5	4	40
	非常勤	226	45	132	15	5	22	7
職 員	本務	32	5	16	2	0	3	6
	兼務	35	6	10	14	2	2	1

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化の進行や経済状況の変化等により、厳しい状況にある。

このような中、各校は以下の取り組みを行っている。

【八洲学園大学】

- ・「八洲学園大学 第三期中長期計画」(令和5～14年度)の3年目として、内部質保証推進部会を中心に計画の遂行を推た。
- ・令和6年度大学機関別認証評価での参考意見や改善を要する事項について、下記の対応を行った。
- ・令和9年度から履修上限単位数を1期あたり24単位に減らすことを決定した。
- ・「八洲学園大学 職員の選考及び昇任に関する規程」を策定した(令和7年1月6日施行)。
- ・「八洲学園大学研究倫理及び研究費の監査に関する規程」を変更し、「八洲学園大学における公的研究費の内部監査計画」「八洲学園大学 研究倫理及び研究費に関する内部監査マニュアル」を策定した(令和8年4月1日施行)。
- ・令和6年度から監事の監査報告書の宛先を理事会、評議員会宛に変更した(学園本部にて対応)。
- ・令和8年度から法人として取りまとめた事業計画書とした(学園本部にて対応)。
- ・第1学期(4月入学)と第3学期(10月入学)の出願回を4回から5回に変更し、早期の入学者獲得に努めた。
- ・令和8年度からのシニア割引の値上げに向けて、通常のWEB広報に加えて葉書による訴求も行った。
- ・図書館情報学、博物館学、キャリア教育、プレゼンテーション科目の非常勤講師を公募し、合計6名の採用を決定した。
- ・「学生支援センターアンケート」を行い、職員のスキルアップや学生支援センターが管理するページ・資料の改善に役立るとともに、アンケートを通してサポート概要の周知に努めた。

【八洲学園高等学校】

- ・通信制高等学校として、通学型のサポートクラス、通信型の通信クラス、技能連携校、科目履修生、中等部の生徒への教育活動
- ・教育講演会、体験活動など、教育関係者との情報交換や地域の方との交流の場を設け、社会貢献活動

【八洲学園大学国際高等学校】

- ・「高等学校教育を受けられなかった青少年に就学の機会を与えること」を主たる目的とし、全国各地幅広い地域・年齢の生徒を受け入れ。
- ・八洲学園大学との高大連携及びESA音楽学院専門学校との高・専連携事業を実施。
- ・地域の方々に本校教育活動へのご理解・ご協力を頂く中で、地域に根差した学校を目指し交流を深める。

【八洲学園高等専修学校】

発達障害を中心とする実践教育を更にすすめるとともに

卒業後の進路において途切れない支援の在り方を進路先と連携していく。

【ESA音楽学院専門学校】

- 吹奏楽を職業にと考える人達の専門学校として、生徒のリペア技術の習得向上、演奏技術の習得向上を目指した。
- ・全体 カリキュラムの見直し・就業規程の見直し
- ・教務 退学者の減少を目指す、リペア技術の習得(管楽器リペアコース)、演奏技術の習得向上(吹奏楽コース)
- ・総務 定員充足率の向上

【福岡女子商業高等学校】

本校は町立から私立に移管した全国的にも珍しい高校として、地域との繋がりを保ちながらも固定観念に捉われずに新たな学校教育の姿を追求し、地域の希望となる学校作りを展開する。育成したい生徒像はあらゆる場面で物事を自分ごととして捉えながら必要な場面で「一歩踏み出す勇気」を備えた人物である。その実現のために積極的に社会との接続を図り、体験的な学習を積み重ね、時代に即した商業教育の再定義を目指す。社会とともにウェルビーイングなあり方を体現したい。

(2) 事業計画の進捗・達成状況

当該年度に実施した事業は以下の通りである。

【八洲学園大学】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
教育課程の体系的な編成	・生涯学習社会の実現のため、生涯を通して学び続けて社会の変化がさらに激しくなる時代を生き抜く意欲をもった人材を育成している。 ・知識基盤社会をたくましく、しなやかに生き抜くことのできる生涯学習者・生涯学習支援者を育成するカリキュラムを編成している。 ・ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標を明確にして、科目ごとの成績評価への厳正な適用を図っている。 ・カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成を目指して、科目の開設と見直しを進めている。 ・実践的なプレゼンテーション能力、ディスカッション能力を培う演習科目など、課題発見・解決力や豊かな人間性の醸成に資する科目群を開設している。 ・学生や卒業生の視点を育成に反映させるためのアンケートを実施して、科目の新設に役立てている。 ・国家資格取得などの学びを通じて地域の活性化に貢献する人材を育成している。	・令和7年度から「レポートの書き方入門Ⅱ」を2単位に変更し内容を充実した。 ・文学関連科目の整理・体系化を行い、令和7年度から「日本文学史(近代)」「日本文学史(古典)」「文学の批評と理論」を新設した(「日本文学(理論)」は廃止)。 ・令和6年度大学機関別認証評価での参考意見を踏まえて、令和9年度から1期あたりの履修上限単位を24単位とすることを決定した。 ・学生のニーズに応じて令和8年度から「レポートの書き方入門Ⅰ」を1単位・年4回開講に戻すことを決定した。 ・教務委員会にて学修ニーズ調査の実施・調査結果の教育課程への反映について検討した。 ・令和8年4月1日付で図書館情報学、博物館学、キャリア教育、プレゼンテーション科目の非常勤講師計5名の採用を決定した。また、同10月1日付で図書館情報学の非常勤講師1名の採用を決定した。 ・令和8年度からの準デジタルアーキビスト資格科目の開講を決定した。
教員の能力開発と教授方法の工夫・開発	・eラーニングシステムの特徴を生かしたアクティブラーニングを具現化する教育方法などの教授法を開発して拡充している。 ・eラーニングシステムの機能が多様なインターネット環境に応じて最適化されている。 ・FD(Faculty Development)研修を実施して意見交換を行ない、eラーニングシステムを教育指導に活かすための能力の開発を図っている。 ・教員同士の交流の機会を作って、教育・研究の経験と問題意識を共有している。 ・グローバル化の進展により多様となったインターネット環境に対応できる学びのスタイルを提供している。 ・国内のどこからでも教員が配信し、学生が受講できるeラーニングシステムを整備している。	・「SOBA マナベル」の字幕表示に編集機能を実装した。 ・教務委員会にて「生成AIに関する指導状況についてのアンケート」を実施した。 ・令和8年3月にFD研修会「大学教育における生成AIの有効活用」を開催した(専任教員参加率100%)。 ・科目評価アンケートまとめの分析に基づくIR推進部会からの指摘事項を整理した改善方策を「教員情報ページ」に掲載した。
研究活動支援	・外部資金の公募情報を収集して提供し、応募を促進している。	・「八洲学園大学紀要 第21号(2025年3月刊行)」を刊行した。

	・外部資金の応募にあたって申請書類の作成を支援する体制を整備している。 ・図書館や研究室など教育・研究を行なうための設備の充実を推進している。 ・学術情報リポジトリを構築し、研究成果の活用を促進している。 ・適切な研究時間の確保を図るため、教育・研究以外の教員業務の効率化をさらに推進している。	・令和7年度の個人研究費及び個人研究旅費を規程に則り支給した。 ・令和7年度は5名（専任1名、非常勤4名、継続課題を含む）が科研費の交付を受けた。 ・「八洲論叢 第5号」を刊行した。 ・個人研究費及び旅費の申請・報告書式を改善した。
学生の受け入れ	・アドミッション・ポリシーに基づいて、多様な学生の受け入れを推進している。 ・特別な配慮を必要として入学を希望する人に対して入学支援相談の体制を整備している。 ・eラーニングシステムの機能を生かして、世界中どこからでも学べる環境を整備している。 ・入学検討者向けの模擬授業、オープンキャンパス、各種SNS(Social Networking Service)を活用した広報など多様な学生を受け入れるための取組を実施している。	・厚木市公式サイト「あつぎりカレント情報サイト」への掲載を開始した。 ・大学サイトのシニア割引のページを「学びなおし」を強調した内容に改善した。 ・桜木町町内会の回覧板・掲示板等で大学広報を行ったした。 ・「単位認定基準」と「再入学、編入学及び転入学に関する規程」を変更し、令和8年度から「修業年限が2年以上の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）の専攻科又は特別支援学校の高等部の専攻科」を学士取得編入学の出願資格に追加することを決定した。 ・「修学上の配慮」について、2025年度春期は14名、秋期は17名を対応した。 ・令和7年6月から「入学説明会・授業体験(オンライン)」を月2回開催に増やした。 ・令和8年度入試から出願時の本人確認書類の条件を緩和することを決定した。 ・令和8年度から作文の課題内容を改善した。
学修支援体制の整備	・学生の一人ひとりが自分の社会生活と両立して学び続けていけるように学修支援体制を整備している。 ・アカデミック・スキル関連科目の整備を通じて学修の促進を図っている。 ・自然災害などの非常事態を想定して、学修の継続を図るための学修支援体制の整備を検討している ・SD(Staff Development)研修・FD研修などの実施を通じて、教職員が教育の理念や学内外の問題・課題を共有し、一体となって学修支援に取り組んでいる。 ・学生同士の交流を促し、豊かな人間性の醸成に資する仕組みを整備している。 ・eラーニングシステムの機能を生かして、障害学生支援を実施している。	・令和7年度の課外活動として、教員引率による施設見学1件、交流会6件を実施した。また、令和7年10月22～24日の図書館総合展内でもミニ交流会を実施した。 ・令和7年9月21日に「ホームカミングデー」を開催した。 ・令和7年9月30日に大阪・関西万博「いのちの未来」パビリオンのパブリックビューイングを開催した。 ・令和8年3月にSD研修会「望ましい教員像」「目指す職員像」、及び「大学評価とその対策：昨年度の認証評価を振り返って」を実施した（専任教職員参加率100%）。

	・中途退学などの防止につながる取組を行っている。 ・学生のニーズに沿った多様な方法により授業を開講している。	
キャリア形成と就職支援	・社会の変化に応じて学生のキャリア形成や就職・転職活動を支援する体制の充実を図っている。 ・学生のキャリア形成や就職・転職活動に役立つような科目群を整備している。 ・卒業生を対象とした勉強会や交流会の開催など、卒業や資格取得後をフォローする仕組みを整備している。	・令和7年度就活セミナー（オンデマンド）を配信した。 ・正科生向けの求人情報サイト「キャリアタス UC for 八洲学園大学」を新設した。 ・令和8年4月1日付でキャリア科目の非常勤講師採用を決定した。 ・令和7年12月に提携企業を含む4社の会社説明会を開催した。
運営体制の整備	・大学を取り巻く環境変化に応じて組織を柔軟に改編しながら、学長をはじめとする委員会、教授会等の役割と責任を明確にし、ガバナンスの強化を推進している。 ・教職員の提案などを各委員会、教授会等がくみ上げ、教職員の意思疎通と連携を適切に行い運営をしている。 ・中長期的な管理運営体制の視点に基づき有用な人材を計画的に確保するとともに、SDをはじめとする研修等により管理運営にかかわる教職員の人材育成をしている。	・令和7年4月1日付で図書館情報学の専任教員1名、及び博物館学及び社会教育学の非常勤講師計2名を採用した。 ・令和8年4月1日付で図書館情報学、博物館学、キャリア教育、プレゼンテーション科目の非常勤講師計5名の採用を決定した。また、同10月1日付で図書館情報学の非常勤講師1名の採用を決定した ・令和8年3月にSD研修会「望ましい教員像」「目指す職員像」、及び「大学評価とその対策：昨年度の認証評価を振り返って」を実施した（専任教職員参加率100%）。
内部質保証の推進	・内部質保証の評価の結果を大学運営の向上のために反映し、PDCAサイクルを機能させている。 ・IR（Institutional Research）によるエビデンスに基づく自己点検・評価を定期的に行っている。 ・自己点検・評価の結果を学内で共有し、情報を公開している。	・令和7年4月9日に令和6年度第2回内部質保証推進部会を開催した。 ・令和7年7月10日に令和7年度第1回内部質保証推進部会を開催した。 ・令和7年5月30日に「令和6（2024）年度八洲学園大学 IR 推進部会年次活動報告書」を学長に提出した。 ・令和7年6月26日に令和7年度第1回IR推進部会、9月1日に第2回IR推進部会、令和8年2月4日に第3回IR推進部会を開催した。 ・令和7年6月30日に「令和7年度エビデンス集（データ編）」を公開した。 ・総務委員会にて「各教員による自己点検評価アンケート」を実施した。
組織倫理、人権、安全管理の推進	・研究倫理の遵守を推進している。 ・人権に配慮した職場環境を促進している。 ・発災時の事業継続体制の構築などによる危機管理対策をしている。 ・e ラーニングシステムの安定的な稼働と情報セキュリティの強化を図っている。	・競争的研究費（科研費）の交付を受けた教員及び事務担当職員を対象に、コンプライアンス教育・研究倫理教育を実施した（動画視聴、規程類確認と誓約書提出）。 ・高齢者雇用確保措置と育児・介護法の改正に合わせて各就業規程を変更した。

		・八洲学園大学業務継続計画（BCP）を策定した。 ・消防署の立入検査による指摘を受けて、八洲学園大学ビル全体、及び八洲学園の消防計画を改めて作成し、統括防火管理者の選出と合わせて届出を行った。また、事務局にヘルメットと非常用充電器を配備した。
生涯学習社会の実現	・地方自治体の生涯学習プログラムとの連携を進めている。 ・企業等と連携・協働する体制を強化し、職業人向けリカレント教育の充実を図っている。 ・生涯学習機関として社会の多様なニーズに応える公開講座を展開している。	・令和7年度春期・秋期開放授業を開講した。 ・新規の公開講座として、「野生動物とどう向き合うか？—共生社会の実現に向けて—」、「社会保障を学びましょう・社会保障の基礎知識」、「司書のための英語おはなし会の企画・運営講座」、「超水戸学入門 ～日本史の中の「水戸学」～」、「つくるのが苦手な人のための、自分のやりたいことを生成AIを活用して試しにつくってみる入門講座」、「発達障害のある人が、安心して過ごすことができるには？—現役小学校特別支援学級教諭が語る—」、「感情をコントロールできる人になる方法 ～怒り・イライラ・不機嫌からの脱却～」を開講した。 ・「〚こころのサポーター〚ゲートキーパー養成講座」を8月、2月に開講した。 ・「著作権法入門講座」、「図書館の自由に関する宣言」を読み解く」、「【八洲学園大学国際高等学校 高大連携講座（2025）】体調をととのえる」を開講した。
社会貢献活動の推進	・教育・研究の成果や施設・設備を活用して広く社会や地域に貢献することを推進している。 ・学生や教職員、卒業生等が行っている教育・研究の成果を社会や地域に還元する活動、またその他のボランティア活動等についての情報交換・発信を大学として推進している。 ・eラーニングシステムの機能を活かして公開講座の充実を図っている。	・令和7年4月24日に「横浜市西区における災害時及び防災啓発活動の協力に関する協定」を締結した。 ・桜木町町内会員に全戸配布・回覧板・掲示板で附属図書館開放を広報した。 ・令和7年度リカレント研究員として5名を受け入れ、新たに主任研究員に教員1名が就任した。 ・令和7年7月20日の参議院選挙、8月3日の横浜市長選挙、令和8年2月8日の衆議院選挙の投票所として、附属図書館閲覧室を提供した。 ・第27回図書館総合展のミニブース出展について、学生2名と教職員4名からなる実行委員会に対応し、学生ボランティアと共にブース運営にあたった。結果的に、アカデミックブース部門で来場者アンケート1位を獲得した。

※「事項」及び「概要」は八洲学園大学第3期中長期計画に基づく。

【八洲学園大学】

・施設・設備の整備計画

令和 7 年度は、令和 6 年度のキュービクル内部部品更新工事の続きとなる受変電設備更新工事を予定していたが、工事日の調整がつかず延期し、以下を実施した。

- ・ 受水槽（No. 1）マンホールパッキン取付工事
- ・ 8 階 No. 1 系統、5 階 No. 1 系統の室外機部品交換工事
- ・ 5 階 A・B 教室、3 階 A 教室、 9 階 A 教室空調機部品交換工事
- ・ 消防設備点検時不備事項改修工事
- ・ 9 階男子トイレ小便器センサーユニット交換工事
- ・ 9 階女子トイレ照明スイッチ交換工事
- ・ 6 階給湯器撤去工事
- ・ 天井ボード金物設置工事
- ・ 9 階 A 教室、8 階 A 教室、7 階 A 教室、5 階 B 教室ブラインド（カーテン）交換工事
- ・ 1 階機械式駐車場側スチールドア交換工事

【八洲学園高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
サポートクラス運営の定着化 ホームサポートクラスの入学者増	3 学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。 また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。	令和 7 年度の実績は会計書類参照
八洲学園中等部（フリースクール）	中等部の登録者数を増やす。 不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。	令和 7 年度の在籍者数 166 名
支援を要する生徒さんへの就労支援の充実	支援を要する生徒さんへの就労支援の充実の為、校内模擬会社を設立し、生徒さんに入社から就労までの模擬体験を経験してもらう。	

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期
堺本校 2 号館家庭科室改修、2 号館 2、3F 生徒用トイレ改修工事費、電子黒板、シュレッダー、印刷機、ビジネスフォン	堺本校、大阪中央校、梅田、新宿、池袋キャンパス	R 7 決算書に記載	R 7 決算書に記載	令和 7 年 4 月～ 令和 8 年 3 月

【八洲学園大学国際高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
高大連携・高専連携の推進	高校と八洲学園大学・ESA 音楽学院専門学校の連携・接続を深めることで、内部進学者をいっそう増やすと共に、入学検討者からの当校の魅力向上／他校との差別化をはかる。	・担任・副担任から生徒に対して八洲学園大学及び ESA 音楽学院専門学校への内部進学希望者がいないか声かけを引き続き実施。学校情報誌では定期的に大学情報を掲載。本校が生徒募集の学校訪問をする際、大学パンフレットを配布。
地域貢献・地域交流	地域の恒例行事となった小学生サッカー・バスケット大会を主催し、地域貢献・地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させる。 要支援家庭を支える民生委員や地域の不登校児や学校不適応児を支える各種教育関連機関との情報交換・連携・研修案内の交流を進める。	・教育委員会・商工会・観光協会・地域の方々の協力を頂き、第 13 回本部町×八洲学園 U-12 スポーツ大会(ミニバスケットボール・サッカー)を行い、沖縄県内全域から 30 チーム、約 1,000 名が来場した。 ・沖縄県内全域及び鹿児島県離島の中学校、高等学校、教育機関、各種団体への本校 PR 及び研修受け入れ案内を進めた。また、研修受け入れを行い、情報交換・連携体制の構築を行った。
広報面の新規施策強化	沖縄県本島・離島への相次ぐ大手通信制高等学校進出の状況の中、6 年度 750 名程に増加した沖縄県内在住生徒数を維持・増加することを目的として新規施策を積極的に実施する。	・ミニパンフレット制作して県内 200 カ所程に設置。リーフレットを制作して全国の学習提携校の協力を得て配布。沖縄県内全域の教育機関・各種団体へのアプローチも行い、多方面で生徒募集を行った。 ・テレビ出演・SNS 発信を積極的に企画して、認知度拡大に努めた。
生徒サポート強化・教職員の働き方改革のための研修・業務情報化	担任・副担任が生徒 1 人ひとりに質の高い教育・生活指導・進路指導を実施するため、研修・勉強会や意見交換会を定期的に実施する。 また、Web 技術や学校情報システムを活用した業務の高度化・効率化を図る。	毎月様々なテーマで教職員研修を行い、教職員及び学校のアップデートを積極的に実施した。

・施設・設備の整備計画

事項	概要	進捗状況
宿舎棟および職員室棟の錆び止め塗装工事	塩害による校舎の劣化を防ぐため実施する	工事完了
ボイラー施設修繕工事	石灰の詰まった熱交換器を交換する	工事完了
電話回線改修工事	音声不通や通話切れ等の障害が多いため改修する	工事完了
空調機器の更新	教室棟 2 台の取替工事を行う。	工事完了

【八洲学園高等専修学校】

・主な事業の目的・計画及びその進捗状況

事項	概要	進捗状況
学校関係者評価	生徒職員以外の大学・就職先の人による評価	9月実施
第21回全国専攻科研究集会	全国集会として静岡県富士市で開催	11/8.9開催
他関係学会での参加・発表研修依頼	学会発表（日本特殊教育学会） 堺市小学校特別支援学級教員 研修	参加せず 本校にて開催

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	財源	実施時期
補修工事	修繕費 6,820,000円	自主財源	8年3月
電子黒板	教育研究用機器備品 1,195,700円	自主財源	7年12月
UTM装置	教育研究用機器備品 1,039,995円		8年3月

【ESA 音楽学院専門学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

【全体】		
事項	概要	進捗状況
カリキュラムの見直し	学校教育法改正に伴う学則の変更で時間制から単位制に変更	学則の変更手続き完了
就業規程の見直し	育児・介護休暇の設置 時短勤務制度の設置	就業規程再編完了
【教務】		
退学者の減少を目指す	入学後の学生生活状況把握、目的意識を持たせる	
リペア技術の習得向上 （管楽器リペアコース）	楽器店及びリペア工房への就職	（2年生） 楽器店・リペア工房へ就職 市役所・一般企業へ就職 エンターテインメント会社へ就職 （1年生） 85%の学生が2年生へ進級
演奏技術の習得向上 （吹奏楽コース）	演奏家の育成 自衛隊・消防・警察等の音楽隊への入隊	（2年生） 航空自衛隊へ就職 （1年生） 75%が2年生へ進級 25%がフランス音楽留学中（休学）
【総務】		
事項	概要	進捗状況
定員充足率の向上	ベスト進学ネットみんなの専門学校情報、マイナビ進学サイト、スタディサプリへ広告掲載を行う。	予定通り実施

【福岡女子商業高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
対話文化の構築	生徒のみならず教員も対話文化を積極的に取り入れることにより、自己変容を受容しながら主体的に生きることのできる学びの空間を創出する。	年間5回以上の対話セッションを設定し、学年の枠を越えた横断的な対話を実施した。
授業改革（100分授業の導入）	主体的な学びを促進する手法として、インプットとアウトプットを両立させる100分授業を実施する。	授業時間を100分に再編したことにより、各教科において対話の時間を十分に確保し、アウトプットの多様化を実現した。
スクールポリシーの策定	学校のあり方を教職員自身の言葉で言語化することにより、働き方および考え方の方向性を共有・統一することを目指す。	本校の方向性を関係教員全員で共創し、目指すべき姿を明示するスクールポリシーを策定した。

・施設・設備の整備報告

事項	事業規模等	事業費	財源	実施時期	備考
第1棟高1高2クラスルーム廊下側ガラスサッシ化	1式	R7 決算書に記載	学生生徒等納付金収入	7月	木枠からアルミへの変更
校内エアコン更新・新規設置	1式	R7 決算書に記載	学生生徒等納付金収入・国庫補助	6月	
職員室改装	1式	R7 決算書に記載	学生生徒等納付金収入・同窓会寄付金収入	3月	

（3）その他

主な施設の状況は次の通りである。

ア) 土地

所在地	部門	専用面積	取得価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	838.21 m ²	658,288 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	992.00 m ²	105,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	327.00 m ²	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	330.00 m ²	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	984.00 m ²	96,753 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	290.00 m ²	59,587 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	21950.00 m ²	172,505 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	1408.00 m ²	8,540 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	724.00 m ²	4,380 千円
沖縄県国頭郡本部町字石川知場塚原	八洲学園大学国際高等学校	7275.00 m ²	28,366 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	276.00 m ²	58,500 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	836.00 m ²	50,400 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	261.93 m ²	47,337 千円

イ) 建 物

所在地	部門	専用面積	帳簿価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	4662.19 m ²	192,264 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	683.93 m ²	21,100 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	304.98 m ²	
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	1156.97 m ²	39,745 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	1145.17 m ²	115,006 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬	八洲学園大学国際高等学校	2993.62 m ²	240,830 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等専修学校	1010.94 m ²	2,938 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	907.59 m ²	2,749 千円
福岡県那珂川市片縄北	福岡女子商業高等学校	10741.80 m ²	256,019 千円

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

貸借対照表は、学園の財政状態の健全性、必要資産の保有状況について表示したものです。

資産の合計は 11,851,982 千円で、前年度に比べ 1,820,808 千円の増加となり、負債の合計は 324,166 千円で、前年度に比べ 38,251 千円の増加となりました。

結果、純資産の合計は 11,527,816 千円となり、前年度に比べ 1,782,557 千円の増加となりました。

(単位 千円)

科 目	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末
固定資産	4,087,961	4,013,530	4,016,639	3,992,798	3,230,569
流動資産	4,666,975	5,095,452	5,547,594	6,038,376	8,621,413
資産の部合計	8,754,936	9,108,982	9,564,233	10,031,174	11,851,982
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	250,258	247,036	279,039	285,915	324,166
負債の部合計	250,258	247,036	279,039	285,915	324,166
基本金	5,569,248	5,608,811	5,697,015	5,820,124	4,997,423
繰越収支差額	2,935,430	3,253,135	3,588,179	3,925,135	6,530,393
純資産の部合計	8,504,678	8,861,946	9,285,194	9,745,259	11,527,816
負債及び純資産の部合	8,754,936	9,108,982	9,564,233	10,031,174	11,851,982

イ) 財務比率の経年比較

比率名	算 式	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} + \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	327.3	329.9	325.8	325.6	446.2
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1864.9	2062.6	1988.1	2111.9	2659.6
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	2.9	2.8	3.0	2.9	2.7
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	99.9	100.0	99.8
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	291.7	300.9	307.4	318.5	444.1

②事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書は、会計年度の事業活動収入及び事業活動支出を明らかにするとともに、基本金組入額を控除した会計年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにしたものです。

基本金組入前の当年度収支差額は 1,782,556 千円となり、基本金組入額△46,797 千円を計上後の当年度収支差額は 1,735,759 千円となりました。また、当年度収支差額に前年度の繰越収支差額 3,925,135 千円及び基本金取崩額 869,498 千円を加算した結果、翌年度繰越収支差額は 6,530,392 千円となりました。

(単位 千円)

		科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,492,213	1,575,359	1,741,606	1,898,852	1,871,451
		手数料	28,027	29,687	33,513	30,257	31,282
		寄付金	379	6,846	6,978	13,549	9,416
		経常費等補助金	272,936	280,427	345,231	366,540	411,612
		付随事業収入	25,182	6,319	6,121	8,861	2,628
		雑収入	27,272	25,785	32,512	23,148	25,185
		教育活動収入 計	1,846,009	1,924,423	2,165,961	2,341,207	2,351,574
	支出	人件費	884,361	941,539	1,047,758	1,127,093	1,190,377
		教育研究経費	438,006	482,016	529,497	600,026	570,649
		管理経費	178,693	195,273	200,104	199,595	208,101
		徴収不能額等	61	0	0	0	0
		教育活動支出 計	1,501,121	1,618,828	1,777,359	1,926,714	1,969,127
		教育活動収支差額	344,888	305,595	388,602	414,493	382,447
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	1,985	1,748	1,510	1,691	1,668
		その他の教育活動外収入	25,214	28,760	22,400	28,223	19,155
		教育活動外収入 計	27,199	30,508	23,910	29,914	20,823
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出 計	0	0	0	0	0
		教育活動外収支差額	27,199	30,508	23,910	29,914	20,823
経常収支差額			372,087	336,103	412,512	444,407	403,270
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	418	0	1,449,917
		その他の特別収入	7,723	21,165	10,374	15,658	2,020
		特別収入 計	7,723	21,165	10,792	15,658	1,451,937
	支出	資産処分差額	0	0	57	0	72,651
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出 計	0	0	57	0	72,651
		特別収支差額	7,723	21,165	10,735	15,658	1,379,286
基本金組入前当年度収支差額			379,810	357,268	423,247	460,065	1,782,556
基本金組入額合計			△ 29,693	△ 39,562	△ 88,203	△ 123,109	△ 46,797
当年度収支差額			350,117	317,706	335,044	336,956	1,735,759
前年度繰越収支差額			2,585,162	2,935,429	3,253,135	3,588,179	3,925,135
基本金取崩額			150	0	0	0	869,498
翌年度繰越収支差額			2,935,429	3,253,135	3,588,179	3,925,135	6,530,392

(参考)

事業活動収入 計	1,880,931	1,976,096	2,200,663	2,386,779	3,824,334
事業活動支出 計	1,501,121	1,618,828	1,777,416	1,926,714	2,041,778

イ) 財務比率の経年比較

比率名	算 式	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	47.2	48.2	47.8	47.5	50.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	23.4	24.7	24.2	25.3	24.1
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.5	10.0	9.1	8.4	8.7
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	79.7	80.6	79.5	80.1	78.8
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	20.2	18.1	19.2	19.3	46.6
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	81.1	83.6	84.1	85.1	54.1
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	19.9	17.2	18.8	18.7	17.0
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	18.7	15.9	17.9	17.7	16.2

③資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにし、

その年度における支払資金のてん末を明らかにしたものです。

当年度の収入は 6,360,288 千円で、前年度の繰越支払資金 5,925,139 千円を加算すると、

収入の合計は 12,285,427 千円となりました。

当年度の支出は 3,833,403 千円となり、翌年度の繰越支払資金は 8,452,024 千円となりました。

結果、翌年度の繰越支払資金は、前年度に比べ 2,526,885 千円の増加となりました。

(単位 千円)

収入の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	1,492,213	1,575,359	1,741,606	1,898,852	1,871,451
手数料収入	28,027	29,687	33,513	30,257	31,282
寄付金収入	379	11,846	6,978	13,549	11,436
補助金収入	280,660	295,559	355,605	382,197	411,612
資産売却収入	0	0	418	0	205,107
付随事業・収益事業収入	50,396	35,079	28,522	37,084	21,783
受取利息・配当金収入	1,985	1,748	1,510	1,691	1,668
雑収入	27,272	25,785	32,512	23,148	25,185
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	128,307	119,004	148,385	133,553	135,741
その他の収入	1,396,551	1,445,540	1,653,070	1,795,570	2,046,925
資金収入調整勘定	△199,963	△215,962	△233,482	△252,251	△247,852
前年度繰越支払資金	4,076,975	4,544,429	4,974,955	5,423,875	5,925,139
収入の部合計	7,282,802	7,868,074	8,743,592	9,487,525	12,285,427

(単位 千円)

支出の部	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人件費支出	884,361	941,539	1,047,758	1,127,093	1,190,377
教育研究経費支出	354,158	391,823	420,928	480,378	458,912
管理経費支出	176,966	193,968	198,956	198,448	207,296
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	18,805	10,036	62,066	61,387	31,830
設備関係支出	15,581	28,492	28,187	32,236	20,593
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	1,300,348	1,341,432	1,579,250	1,697,607	1,980,592
資金支出調整勘定	△11,846	△14,171	△17,428	△34,763	△56,197
翌年度繰越支払資金	4,544,429	4,974,955	5,423,875	5,925,139	8,452,024
支出の部合計	7,282,802	7,868,074	8,743,592	9,487,525	12,285,427

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金支出の決算の額を、

「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」の三つの活動に区分し資金の流れを表示したものです。

教育活動による資金収支差額は495,250千円となり、施設整備等活動による資金収支差額は1,992,684千円、

その他の活動による資金収支差額は38,951千円となりました。

結果、支払資金の増減額は2,526,885千円となりました。

(単位 千円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	1,846,009	1,924,423	2,165,961	2,341,206	2,351,575
教育活動資金支出計	1,415,484	1,527,330	1,667,642	1,805,918	1,856,585
差引	430,525	397,093	498,319	535,288	494,990
調整勘定等	1,803	△7,500	9,909	9,509	260
教育活動資金収支差額	432,328	389,593	508,228	544,797	495,250
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	7,723	20,131	10,792	15,657	2,053,077
施設整備等活動資金支出計	34,386	38,528	90,253	93,623	52,423
差引	△26,663	△18,397	△79,461	△77,966	2,000,654
調整勘定等	△2,102	2,102	△7,939	1,282	△7,970
施設整備等活動資金収支差額	△28,765	△16,295	△87,400	△76,684	1,992,684
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	403,563	373,298	420,828	468,113	2,487,934
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,359,495	1,383,898	1,589,403	1,710,956	1,963,854
その他の活動資金支出計	1,295,604	1,326,670	1,561,311	1,677,805	1,924,903
差引	63,891	57,228	28,092	33,151	38,951
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	63,891	57,228	28,092	33,151	38,951
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	467,454	430,526	448,920	501,264	2,526,885
前年度繰越支払資金	4,076,975	4,544,429	4,974,955	5,423,875	5,925,139
翌年度繰越支払資金	4,544,429	4,974,955	5,423,875	5,925,139	8,452,024

ウ) 財務比率の経年比較

比率名	算 式	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	23.4	20.2	23.4	23.5	21.1

(2) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	(株)神戸製鋼所	500	277,043 円	945,000 円	有価証券
株式	南海電気鉄道(株)	6,200	4,850,460 円	19,468,000 円	有価証券
計		6,700	5,127,503 円	20,413,000 円	

②寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
特 別 寄 付 金	卒業生・保護者	10,764,566 円	福岡女子商業高等学校
一 般 寄 付 金	卒業生・保護者 他	671,859 円	八洲学園大学 福岡女子商業高等学校

③補助金の状況

補助金の種類	金額
国庫補助金収入	28,918,000 円
地方公共団体補助金収入	382,694,281 円

④収益事業の状況 不動産賃貸業を行っており、その状況は次のとおりである。

(単位 千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
流動資産	7,963	9,145	9,012	8,561	0
固定資産	174,574	183,913	178,456	172,999	114,790
資産合計	182,537	193,058	187,468	181,560	114,790
流動負債	6,494	8,594	5,859	6,405	1,433
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	6,494	8,594	5,859	6,405	1,433
純資産合計	176,043	184,464	181,609	175,155	113,357
負債・純資産合計	182,537	193,058	187,468	181,560	114,790
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
売上高	47,879	54,893	54,553	53,250	36,773
販売管理費	50,494	57,924	54,801	56,666	42,312
営業外損益	0	0	0	0	0
当期純損益	△2,615	△3,031	△248	△3,416	△5,539

(3) 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

現在、財務運営において大きな課題はございませんが、人件費やインフレによる経費の上昇など、

私立学校を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

少子化が進むなかで安定した経営を維持するため、今後はさらなる財務の健全化に加え、次世代を担う教職員の育成や施設設備の更新に計画的に取り組んでいく方針です。

4. 学校法人の業務の適正を確保するための体制の整備及び運用状況の概要

(1) 理事の体制の整備及び運用状況

- ・寄附行為、業務執行理事1名を置き理事長を補佐し学校法人の業務を掌理している。
- ・寄附行為、理事長及び業務執行理事は、3か月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告を行っている。

(2) 監事の体制の整備及び運用状況

- ・監事の監査を支援するための事務体制を学園本部で整備し監事監査計画策定の支援、業務監査、会計監査の支援を行っている

附属明細書

子法人、出資会社、関連当事者に係る事項

名称	株式会社ドーダス		所在地	北海道札幌市中央区	
事業内容	学習塾				
学校法人と当該会社との人事上の関係	当学校法人の役員のうち1名が取締役を兼務している。				
資本金	10,000,000円		200株		
学校法人の出資状況	平成13年10月5日	10,000,000円		200株	
当期中に学校法人が該当会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額	当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄附の金額並びに学校法人との資金取引はなし				
保証債務	無し				
他の注記事項との関係	子法人	—	出資会社	関係あり	関係当事者 関係あり

名称	学校運営機構株式会社	所在地	東京都新宿区新宿			
事業内容	学校に対するコンサルティング業務、運営受託業務等					
学校法人と当該会社との人事上の関係	当学校法人の役員のうち1名が取締役を兼務している。					
資本金	31,000,000円	620株				
学校法人の出資状況	平成22年2月24日	30,000,000円	600株			
当期中に学校法人が該当会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額	(単位:円)					
	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高		
	学校業務の委託	31,302,249円	委託手数料	—		
	賃料収入	490,232円	収益事業会計	—		
	貸付金利息	1,320,000円	受取利息	—		
	貸付金	0円	貸付金回収	132,000,000円		
	令和6年3月から令和8年3月まで3年間の元本返済猶予期間の設定がなされたため当期収入はない。					
他の注記事項との関係	子法人	関係あり	出資会社	関係あり	関係当事者	関係あり

名称	株式会社SOBAエデュケーション		所在地	東京都新宿区新宿	
事業内容	インターネットを利用したeラーニング、教育に関するポータルサイトの企画運営、学習指導センター運営等				
学校法人と当該会社との人事上の関係	当学校法人の役員のうち1名が取締役を兼務している。				
資本金	60,000,000円		600株		
学校法人の出資状況	平成21年5月29日	30,000,000円		300株	
当期中に学校法人が該当会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額	(単位:円)				
	取引の内容	取引金額	勘定科目		期末残高
	eラーニング利用料	29,725,080円	システム管理料		—
他の注記事項との関係	子法人	—	出資会社	関係あり	関係当事者 関係あり

名称	株式会社イノーヴインタラクティブ		所在地	東京都新宿区新宿	
事業内容	Web企画制作				
学校法人と当該会社との人事上の関係	当学校法人の役員のうち1名が取締役を兼務している。				
資本金	30,000,000円		600株		
学校法人の出資状況	平成22年9月28日	20,000,000円	400株		
	平成24年10月2日	10,000,000円	200株		
当期中に学校法人が該当会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額	(単位:円)				
	取引の内容		取引金額	勘定科目	期末残高
	WEBサイト作成・更新料		18,866,923円	委託手数料	—
	賃料収入		490,232円	収益事業会計	—
他の注記事項との関係	子法人	関係あり	出資会社	関係あり	関係当事者 関係あり